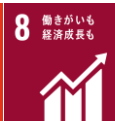


【重点項目Ⅰ】  
スリムな行政体制の構築



実施項目 1 事務事業の見直しと効率化

教 育

ジェンダー

成長・雇用

イノベーション

不平等

取組項目 No.1

審議会等の見直し

(第4次から継続)

【担当：総務課】

現状と課題

市民参加による行政運営を進めるため数多くの審議会等が設置されているが、既に役割が終わったもの、他の審議会で協議できるものなど順次整理していく。

取組内容

- ・「審議会等の設置等に関する基本指針」の周知・指導
- ・審議会等の委員名簿の更新
- ・審議会等設置、継続、統廃合の必要性の検討を要請

年度計画

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
実施	⇒	⇒	⇒	⇒		

目標・成果

- ・役目を終えた審議会等の廃止
- ・他の同種審議会等と統合による整理
- ・審議会等機能が発揮できる適任者選任の指導徹底
- ・女性委員登用の促進

数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度

取組項目 No.2

総合計画を補完する「個別計画」の整理・統合

(第5次から新規)

【担当：総合政策課】

現状と課題

各課において策定する個別計画は、第二次千曲市総合計画策定時点で42計画あるが、内容や課題に重複が見られるものもある。  
国の立法にともなう計画策定の努力義務等が増加しているため、今後も個別計画の策定が増加することが予想される。計画策定に対する財源措置のないものもあることから、財政負担の増加も懸念されるだけでなく、計画策定に費やす業務量も増加し、人的負担も増加している。

取組内容

- ・個別計画を再点検し、統合可能なものを順次統合
- ・個別計画作成にあたっては内容を精査し、不要な記述を削減

年度計画

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒		

目標・成果

- ・計画策定は必要最小限とし、市民にとって分かりやすいものを策定
- ・事務量と財政負担の軽減
- ・5年間で10%の削減

数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画数の削減	%					10		

取組項目 No.3	全庁ネットワークの更改に合わせた業務効率化の進展								
	(第4次から継続) 【担当：情報政策課】								
現状と課題	平成15年の市町合併の際に構築した情報通信基盤である全庁ネットワークは、新庁舎建設に合わせて最新のネットワーク技術、セキュリティ対策を取り入れ、新たに庁内・公衆無線LAN環境の構築、ネットワーク認証、印刷認証の仕組みを構築した。 今後これら仕組みを活用して、業務効率化や業務経費の節減に向けて具体的に取り組んでいく。								
取組内容	ノート型端末を利用した庶務事務や基幹業務における運用経費を定量的に見える化するためのデータ分析手法を確立して、以下の業務効率化や運用経費節減を具現化していく。 ・無線LANによる※シームレスなコミュニケーション連携の実現 ・タブレット型端末等を活用したペーパーレス会議の恒常的開催 ・認証印刷による業務印刷経費の徹底的な節減及び情報漏洩対策の運用徹底  ※シームレス…複数のシステムやソフトウェアを意識せずに、あたかも一体のように利用できる状態								
	年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒			
目標・成果	新庁舎建設で整備した情報通信基盤を最大限活用して、組織パフォーマンスの向上を図り、2040年を展望した『働き方改革』実現に向けて各種取り組みを継続推進していく。 ・打ち合わせの簡易化による会議数の削減、会議の効率化による時間短縮 ・会議資料の用紙・印刷費等のコスト、及び資料作成にかかる労務の削減 ・複合機やプリンターの使用状況を最適化し使用料を削減								
	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
取組項目 No.4	自治体クラウド導入による業務改革の推進								
	(第5次から新規) 【担当：情報政策課】								
現状と課題	国の「地方公共団体におけるクラウド導入促進」の方針に沿って、平成28年より長野県市町村自治振興組合により県内19市による基幹系システム共同化研究会が開始した。当市は平成31年3月に基幹系システムの共同化への参加を決定し、現在、塩尻市、中野市と共同利用に向けて準備している。既にプロポーザル方式によるシステム調達は完了し、システムベンダー（システム運用業者）と契約する段階に差し掛かっており、順調に進めば令和2年11月末に稼働予定である。 なお、3市でのスタートとなったが、後から他市の参加も可能としているので、今後、拡大していくことが期待される。								
取組内容	・県内3市で基幹系システムを共同利用・クラウド化による共通経費の削減 ・参加団体間で業務が共通化・標準化されることによる、災害発生時の相互支援 ・システムの安定稼働後は、5年後のシステム更改に向けて調整								
	年度計画	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		実施	完了(定着)	⇒	調査・研究	実施			
目標・成果	・帳票等の一括発注による中・長期的な運用経費の削減 ・契約事務等の共通事務の集約による職員の事務負担の軽減								
	数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	年間削減額	千円	570	750	750	1,000	1,000		
	(共同化前のシステム導入後5年間の平均経費(初期経費含む)との比較) ※制度改正による変動は除く								

取組項目 No.5		学校施設の有効活用と施設のスリム化								
		(第5次から新規) 【担当：教育総務課】								
現状と課題		少子化により、児童、生徒数が減少してきており、令和3年度には川西地区の上山田小学校、更級小学校、八幡小学校の3校が1年生から6年生まで単級となる見込み。 各小学校は地域の拠点であり、現時点では学校の統廃合は考えていないが、使用していない学校内の教室も増えており、児童・生徒数の減少に加え、教員数も減少する中で、不使用施設の掃除などの維持管理も大変になってきている。								
取組内容		<ul style="list-style-type: none"><li>・現在受け入れができていない4年生から6年生を受け入れるため、学校の空き教室などを児童クラブや児童館の施設として使用</li><li>・施設が老朽化している「ことばの教室」を小学校の空き教室に移転</li><li>・学校内で使用していない施設の有効活用の研究と、不要な施設の閉鎖や撤去</li></ul>								
		年度計画	R2年度 調査・研究	R3年度 実施	R4年度 ⇒	R5年度 ⇒	R6年度 ⇒	R7年度	R8年度	
目標・成果		<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の教室を児童クラブで使用（5校…屋代、東、埴生、治田、五加）</li><li>・ことばの教室を学校の空き教室に移転（1箇所…屋代小学校）</li></ul>								
		数値目標の項目	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		児童クラブの利用	校	1	1	1	2			
		ことばの教室の移転	箇所					1		